

平成30年度第2回(通算第51回)

# 気象予報士試験 試験案内書

この試験案内書をよく読み、記載内容について理解し同意の上で申請・受験してください。

## 日程

受験申請期間	平成30年 11月12日(月)～11月30日(金)
受験票到着期間	平成31年 1月7日(月)～1月11日(金)
試験日	平成31年 1月27日(日)
合格発表日	平成31年 3月8日(金)

## 受験申請

### 郵送の場合

特定記録扱いで申請書類を郵送

申請期間内の消印有効

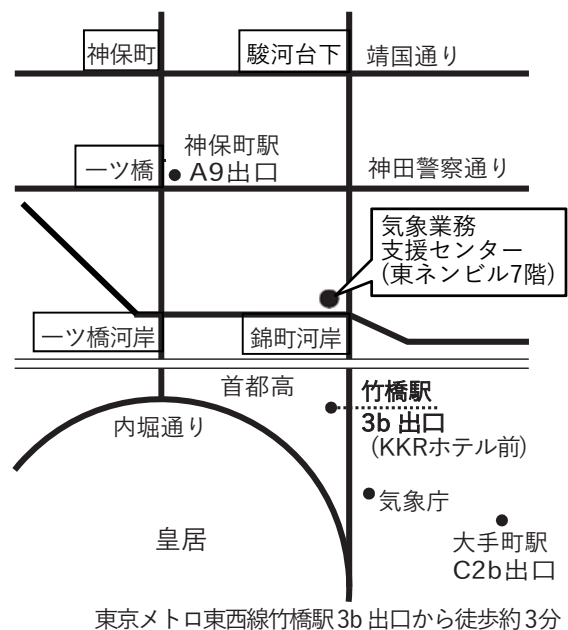
### 持込の場合

申請書類の提出は申請期間内の

土日祝日を除く毎日10時～16時

### 申請先

〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-17  
東ネンビル7階  
(一財)気象業務支援センター試験部



# 試験の概要

## 目的

気象業務法の規定により、気象庁長官の許可を受けて予報業務を行おうとするものは、現象の予想を気象予報士に行わせなければならないとされています。本試験は、その合格者が現象の予想を的確に行うに足る能力を持ち、気象予報士の資格を有することを認定するために行うものです。具体的には、①気象予報士として今後の技術革新に対処しうるように必要な気象学の基礎知識、②各種データを適切に処理し科学的な予想を行う知識及び能力、③予想した情報に関連して防災上の配慮を的確に行うための知識及び能力を認定することを目的とします。

## 受験資格

受験資格の制限はありません。

## 試験科目

### 学科試験の科目

#### 1 予報業務に関する一般知識

大気の構造、大気の熱力学、降水過程、大気における放射、大気の力学、気象現象、気候の変動、気象業務法その他の気象業務に関する法規

#### 2 予報業務に関する専門知識

観測の成果の利用、数値予報、短期予報・中期予報、長期予報、局地予報、短時間予報、気象災害、予想の精度の評価、気象の予想の応用

### 実技試験の科目

#### 1 気象概況及びその変動の把握

#### 2 局地的な気象の予報

#### 3 台風等緊急時における対応

## 試験方法

学科試験は多肢選択式、実技試験は記述式。いずれも筆記試験により行います。

## 合格基準

学科試験（予報業務に関する一般知識）：15 問中正解が 11 以上

学科試験（予報業務に関する専門知識）：15 問中正解が 11 以上

実技試験：総得点が満点の 70%以上

※ただし、難易度により調整する場合があります。

## 科目免除

学科試験の全部（二科目）または一部（一科目）に合格した場合、申請により、合格発表日から一年以内に行われる試験において、合格した科目の試験が免除となります。

また、気象業務に関する業務経歴（16～17 ページ参照）を有する場合、証明書類を添付した申請により、学科試験の全部または一部が免除となります。

## 試験地

北海道・宮城県・東京都・大阪府・福岡県・沖縄県の 6 都道府県で実施します。

## 試験手数料

免除科目なしの方は 11,400 円、学科試験の一科目が免除の方は 10,400 円、学科試験の二科目が免除の方は 9,400 円です。

**\* 今回の試験の時間割・試験会場(予定)は、11ページに掲載されています**

# 受験申請

## 申請方法と期間

郵送



郵便局で特定記録扱いとして下記宛に郵送します。  
期間内の消印有効です。普通郵便での送付禁止。

(9ページの最後の項目をご覧ください)

持込



下記持込先に提出します。期間内の土日祝日を除く  
毎日 10時～16時に受け付けます。

郵送先・持込先

〒101-0054

(地図を表紙に掲載)

東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル7階

(一財) 気象業務支援センター 試験部

平成30年

受験申請期間： **11月12日**(月)～**11月30日**(金)

## 申請書類一覧

該当者	書類	処理の概略	説明ページ
全受験者	受験申請書	基本情報(黒太枠内)の記入 受験者の顔写真と試験手数料 納入のレシート(写し可)を貼付	5～6
学科科目の合格 による免除希望者	受験申請書	免除申請欄の記入	7
規定の業務経歴 による免除希望者	受験申請書	免除申請欄の記入	7
	業務経歴等を 証明する書類	証明者の公印の入った証明書 を準備	16～17
受験票・合否通知 郵送先の変更希望者	送付先変更届	送付先別住所の記入	8
身体不自由等で 受験に際しての 特別措置希望者	特別措置申立書 (書式自由)	希望措置の内容を記載	8

## 証明写真の撮影【全受験者】

受験者の顔が鮮明に判別できる証明写真を1枚用意します（後ほど申請書に貼付）。パスポート写真程度の十分な画像品位を確保してください。大きさが合わない、ぼやけている、明暗が過度、インクの色彩が不自然、写真用紙やインクの質が悪くかすれる等の不適切な写真を用いた申請は受理できません。

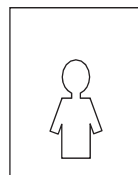
### 大きさ

たて 45mm  
×  
よこ 35mm  
(パスポート写真サイズ)

### 内容

カラーまたは白黒で申請前6か月以内に撮影した無帽正面、上三分身、無背景のもの。  
眼鏡使用の方は着用して撮影。

### 不適切な写真の例



被写体過小



暗過ぎ

## 試験手数料の納入【全受験者】

下記の期間内に免除科目数に適合した試験手数料を納入（払込・振込・振替，ATMの利用可）し，そのレシートを保存します（後ほど申請書に納入の証明として貼付，写しの貼付可）。納入に係る手数料は受験者負担です。ネットバンキングも利用可能ですが，納入状況が正確に分かるよう下記4項目をメモしてください（画面キャプチャも可）。納入の確認ができない申請は受理できません。

### 納入期間(期間厳守)

11月12日(月)  
～  
11月30日(金)

### 金額

免除なし → 11,400円  
一科目免除 → 10,400円  
二科目免除 → 9,400円

### ネットバンキング利用

①日付，②金額，③納入先口座，④ご自身の口座名義を別紙にメモして後ほど申請書に貼付。

### 納入先口座

金融機関名	支店名	口座番号
ゆうちょ銀行 (他行から振込の場合→)	00130-6-574577	
	<small>ゼロイチキョウ</small> 〇一九	当座 0574577
みずほ銀行	丸之内支店	普通 1806667
三菱UFJ銀行	東京公務部	普通 1094884
三井住友銀行	神田支店	普通 9103542

口座名義 = 一般財団法人 気象業務支援センター

## 基本情報を受験申請書に記入【全受験者】

下の記入例を参考に、受験申請書の基本情報（黒太枠内）をもれなく記入します。性別と希望試験地は該当するものを選択（）してください。生年月日は西暦で記入します。「住所」欄の記載住所に受験票などを送付するため、郵便番号および都道府県名から建物名・部屋番号（〇〇様方）までを正確に記入してください。なお、後ほどお送りする受験票や合否通知では、氏名をより一般的な漢字（原則Shift\_JIS第二水準まで）で表記することがあります。

## 証明写真とレシートを受験申請書に貼付【全受験者】

下の記入例を参考に、受験者の証明写真（万一剥がれた時のため裏面に氏名記入）および試験手数料納入のレシート（写し可、残高欄は消去可、ネットバンキング利用の場合は納入状況が分かるメモ）を、それぞれ受験申請書の灰色の糊しろ部分に貼付してください。写真下の氏名欄には氏名を記入してください。

### 申請書記入例

\* 糊は灰色の部分にのみ付けて、他の部分には付けない

**気象予報士試験受験申請書**

指定試験機関  
一般財団法人  
気象業務支援センター会長 殿

受験番号

申請日 2018年11月12日

気象予報士試験を受験したいので、気象業務法施行規則第16条第2項の規定により、写真を貼付して申請します。

フリガナ	キショウ タロウ	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
氏名	気象 太郎	生年月日	1988年1月1日 <small>※西暦で記入</small>
住所	〒100-1234 東京都千代田区〇〇1-2-3 △△マンション201		

希望試験地  
北海道 宮城県 東京都 大阪府 福岡県 沖縄県

受験者の  
証明写真  
  
 気象太郎

- 申請前6か月以内に撮影したもの。
- 無帽、正面、上三分身、無背景のもの。
- 眼鏡使用の方は着用時のもの。
- 万一はがれた時の為に、写真の裏面には氏名を記入してください。

学科試験免除申請欄

	免除を希望する学科試験科目	
	予報業務に関する一般知識	予報業務に関する専門知識
※1 学科試験合格	<input type="checkbox"/> 第 回試験 年 月 日合格 合格番号 A	<input type="checkbox"/> 第 回試験 年 月 日合格 合格番号 S
※2 気象業務に関する業務経歴または資格	<input type="checkbox"/> 第1号 <input type="checkbox"/> 第2号 <input type="checkbox"/> 第3号 <input type="checkbox"/> 第4号 <input type="checkbox"/> 第5号	

※1 今回の試験日から過去1年以内に合格発表のあった試験において学科試験の全部または一部に合格し、今回の試験で当該科目の免除を希望する方は、該当する科目の欄にチェック(○)し、合格した試験回・日付・合格番号を記入してください。

※2 気象業務に関する業務経歴または資格に該当し、今回の試験で学科試験の全部または一部を免除を希望する方は、該当する条項をチェック(○)し、必要な証明書を添付してください。

試験手数料納入  
のレシート(写し可)  
または  
ネットバンキングの  
納入状況を記したメモ

## 免除事項を受験申請書に記入【該当者のみ】

### 過去一年以内に合格した学科科目による免除

平成 29 年度第 2 回（通算第 49 回）か平成 30 年度第 1 回（通算第 50 回）の気象予報士試験において、学科科目を受験してその全部または一部に合格した受験者が対象です。免除を希望する方は、学科合格したときの結果通知書を参照し、下の記入例を参考に受験申請書の免除申請欄に免除事項を選択・記入します。結果通知書やその写しを提出する必要はありません。なお、姓名変更があった場合は、その旨を別紙にメモして申請書と共に気象業務支援センター（以下、当センターと略記）試験部まで提出してください。

**\* 有効な合格回は、通算第 49 回か第 50 回のいずれか**

学科試験免除申請欄		申請書記入例	
		免除を希望する学科試験科目	
		予報業務に関する一般知識	予報業務に関する専門知識
免除の根拠	※1 学科試験合格	<input type="checkbox"/> 第 回試験 年 月 日合格 合格番号 A	<input checked="" type="checkbox"/> 第 50 回試験 平成 30 年 10 月 5 日合格 合格番号 S501234
	※2 気象業務に関する業務経歴または資格	<input type="checkbox"/> 第 1 号	<input type="checkbox"/> 第 2 号 <input type="checkbox"/> 第 3 号 <input type="checkbox"/> 第 4 号 <input type="checkbox"/> 第 5 号

### 気象業務に関する規定の業務経歴による免除

気象業務に関する規定の業務経歴を有する受験者が対象です。免除を希望する方は、下の記入例を参考に受験申請書の免除申請欄の条項を選択します。業務経歴による免除申請では、証明書類の提出が試験毎に必要なになります。詳しくは 16～17 ページをお読みください。

**\* 経歴を証明する書類が別途必要です（16～17ページ参照）**

学科試験免除申請欄		申請書記入例	
		免除を希望する学科試験科目	
		予報業務に関する一般知識	予報業務に関する専門知識
免除の根拠	※1 学科試験合格	<input type="checkbox"/> 第 回試験 年 月 日合格 合格番号 A	<input type="checkbox"/> 第 回試験 年 月 日合格 合格番号 S
	※2 気象業務に関する業務経歴または資格	<input checked="" type="checkbox"/> 第 1 号	<input type="checkbox"/> 第 2 号 <input type="checkbox"/> 第 3 号 <input type="checkbox"/> 第 4 号 <input type="checkbox"/> 第 5 号

## 送付先変更届の作成【該当者のみ】

受験申請書に記入した住所と異なる宛先に受験票や合否通知の郵送を希望する方は、送付先変更届の該当箇所に記入し、受験申請書と共に提出してください。

## 特別措置申立書の作成【該当者のみ】

身体が不自由で受験に際して特別な措置を希望する方は、特別措置申立書を作成し受験申請書と共に提出してください。書式は自由です。不明な点があれば、申請前に当センター試験部までお問い合わせください。提出された申立内容を精査いたしますが、希望する措置がすべて認められるとは限りませんのでご了承ください。受け入れ可能な措置については後日連絡いたします。



## 受験申請に関する注意事項

- 申請後は、申請の取り消しは一切できません。
- 納入された試験手数料は、理由のいかんにかかわらず返還できません。
- 受験申請期間外の申請は、一切受け付けません。
- 試験毎に受験者が提出できる受験申請書は、一通のみです。
- 申請後は受験者を他の者に変更することや、希望試験地・免除科目・特別措置申立有無に関する変更は一切できません。これら以外の項目変更については当センター試験部までご相談ください。
- 受験者本人に替わって代理の方が受験申請を行うことは可能です。この場合、申請内容が事実と相違ないよう注意してください。
- 申請書類を書き損じて内容を訂正する場合、業務経歴等（見込）証明書については必ず証明者の訂正印（公印）を受けてください。他の書類では訂正印は必要ありません。
- 申請内容に不備や虚偽の記載があった場合には、受験できなくなったり不合格となることがあります。不明点は、申請書類を提出する前に当センター試験部までご相談ください。
- 受験票や合否通知の送付先住所は、日本国内のみとさせていただきます。
- 試験地は受験者が選択することができますが、試験会場の指定はできません。試験会場は都合により変更する場合もありますので、後日郵送する受験票にて、確定した試験会場をご確認ください。なお、各会場へのお問い合わせは禁止します。
- 免除の対象となっても、受験者が申請を行わない限り免除は有効となりません。過去の結果通知書を紛失の際は、当センター試験部まで早めに連絡し指示を受けてください。免除を申請した科目は試験当日受験できません。
- 試験手数料は現金書留・定額小為替・普通為替等では納入できません。当センターでは試験手数料納入の領収証は発行いたしません。
- 申請書類を郵送（特定記録）で提出する方は、配達状況が日本郵便（株）のサイトにて確認できます。郵便局で受け取る「書留・特定記録郵便物等受領証」を受験票が到着するまで大切に保管しておいてください。

# 受験票

## 送付方法と期間

受験申請書もしくは送付先変更届に記入した住所宛に、受験票を圧着はがきにて郵送します。

平成31年

受験票到着期間：**1月7日**(月)～**1月11日**(金)

## 受験票に関する注意事項

- 到着期間内に受験票が配達されなかった場合には、ただちに当センター試験部まで電話連絡ください（執務日、時間、電話番号は18ページに記載）。状況を調査の上で再発行します。
- 受験票の内容に誤りや疑問点がある場合には、当センター試験部まで電話連絡ください（執務日、時間、電話番号は18ページに記載）。状況を調査の上で対応を回答します。試験当日のお申し出は、対応できない場合があります。
- 試験当日は、受験票を必ずご持参ください。受験票には、受験者の受験番号や受験する試験会場等が記載されています。
- 受験票は、試験後も合否通知が郵送されるまで大切に保管しておいてください。

# 試験当日のご案内

期日

平成31年

試験日 **1** 月 **27** 日(日)

## 試験時間割

試験時間	科目		方式
09:40～10:40	学科試験	予報業務に関する一般知識	多肢選択式
11:10～12:10		予報業務に関する専門知識	
13:10～14:25	実技試験	気象概況及びその変動の把握	記述式
14:55～16:10		局地的な気象の予報 台風等緊急時における対応	

## 試験会場

試験地	試験会場 (予定)
北海道	大原法律公務員専門学校* 北海道札幌市北区北6条西8丁目 JR札幌駅から徒歩約5分 *前回試験の北海道会場「大原簿記情報専門学校札幌校」の道を挟んで北隣の建物です。
宮城県	東北電子専門学校 宮城県仙台市青葉区花京院1-3-1 JR仙台駅から徒歩約5分
東京都	早稲田大学 戸山キャンパス 東京都新宿区戸山1-24-1 東京メトロ東西線早稲田駅から徒歩約5分
	芝浦工業大学 豊洲キャンパス 東京都江東区豊洲3-7-5 東京メトロ有楽町線豊洲駅から徒歩約10分
大阪府	大阪産業大学 東キャンパス** 大阪府大東市中垣内3-1-1 JR片町線(学研都市線)野崎駅から徒歩約25分 **第49回試験の大阪府会場「大阪産業大学」の東側にあります。
福岡県	福岡商工会議所 福岡県福岡市博多区博多駅前2-9-28 JR博多駅から徒歩約10分
沖縄県	共済会館 八汐荘 沖縄県那覇市松尾1-6-1 沖縄都市モノレール県庁前駅から徒歩約5分

## 試験室

- (1) 使用する試験室は、当日試験会場内に掲示します。試験室では自分の座席を確認し、受験票を机の上に置いてください。
- (2) 係員が試験の説明を行いますので、試験開始時刻の 10 分前までに自分の受験番号の席に着席してください。
- (3) 免除申請した科目のある受験者が、その科目の試験時間中に来場した場合には、当該科目の試験が終了するまで試験室に入室できないことがあります。
- (4) 遅刻の場合には原則として試験時間割に示した試験開始時刻の 30 分後までは入室を認めますが、これを過ぎると当該科目を受験できません。退室は、原則として試験開始時刻の 30 分後以降から可能です。

## 試験時間中

- (1) 試験中は、受験者は持参した受験票および以下の枠内のものだけを机の上に置けます。これら以外のものを試験中に使用することを禁止します。なお、実技試験では解答作成に利用できるトレーニングペーパーを問題用紙に挟んで配布します。

<b>必須</b>	鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB 黒)、プラスチック製消しゴム、ものさしまたは定規(分度器付きのものは不可)、コンパスまたはディバイダ。
<b>任意</b>	色鉛筆、色ボールペン、マーカーペン、ルーペ、ペーパークリップ、時計(計算・辞書等の機能付きや音の出る時計は不可、携帯電話・各種通信端末による代用は不可)。 (電卓、分度器は不可)

- (2) 試験中は、携帯電話やすべての通信端末(スマートフォン、ゲーム機やウェアラブル端末を含みます)は、電源を切り使用を禁止します。これらをお持ちの方は係員の指示に従ってください。また、係員によるこれらの預かりはしません。
- (3) カンニング等の不正行為や他の受験者に迷惑をかける行為を行った場合、係員の指示に従わない場合には、退場を命ずることがあります。これらの場合はすべての科目について採点から除外し、不合格とします。
- (4) 問題の内容に関する質問には一切応じません。問題用紙や解答用紙にページの欠落や印刷不良があった場合には、手をあげて係員に申し出てください。
- (5) 途中退室する場合には、手をあげて係員に合図し、指示に従い解答用紙を係員に提出して静かに退室してください。
- (6) 試験終了後は、係員による解答用紙の回収・確認が終了するまで着席してお待ちください。
- (7) 問題用紙は、試験終了後もしくは途中退室の際に各自持ち帰ってください。

## 試験当日の注意事項

- 各会場施設管理者へのお問い合わせは禁止します。 試験に関するお問い合わせは当センター試験部をお願いします。
- 当日欠席する場合あるいは欠席したい科目がある場合、当センター試験部に連絡する必要はありません。当日受験した学科の科目については、合格発表日に結果を通知します。
- 試験会場やその周辺での駐車・駐輪は禁止します。公共の交通機関をご利用ください。
- 試験会場での無許可の写真撮影や音声録音は禁止します。
- 試験会場に食堂はありません。昼食や飲み物は各自でご用意ください。また、ゴミは必ずお持ち帰りください。会場のゴミ箱は使用禁止です。
- 指定された喫煙場所のみで喫煙できます。一部の試験会場では建物内、屋外とも完全禁煙です。
- 空調能力が制限される可能性があります。温度調節のしやすい服装で来場してください。
- 感染症予防・まん延防止のため、試験中のマスクの着用を認めます。なお、本人確認等のため係員が指示した場合には、一時的にマスクを外していただきます。
- 当センターは試験当日に金銭徴収や各種勧誘行為等は一切行っておりません。会場や最寄り駅の周辺で詐欺行為を行う業者には、十分にご注意ください。
- 免除を申請した科目は試験当日に受験できません。
- 受験票を紛失・不所持の場合は、試験開始前に係員に申し出て再発行を依頼してください。受験票がないと受験できません。
- 筆記用具等の貸し出しは一切いたしません。
- 試験時間中、係員による確認作業のためのお声がけや会場内外からの生活騒音等が発生した場合でも、解答時間に関する救済措置は行いません。
- 解答用紙への記入は、必ず黒の鉛筆かシャープペンシルのみを用いてください。他の筆記具では正しく採点できず不合格となることがあります。学科試験の解答（マークシート）を修正するとき、鉛筆やシャープペンシルに付属の消しゴムを使用すると、記入跡が残り意図した解答にならないことがあります。

## 試験終了後の注意事項

- 忘れ物をした場合は、当センター試験部へお問い合わせください。
- 試験終了後、解答用紙に氏名や受験番号を書き忘れた等の相談には、一切応じられません。
- 住所変更等の個人情報の変更があった（もしくは予想される）場合、試験翌日以降に当センター試験部までご連絡ください。

# 合格発表

## 発表方法と期日

試験の合格者には気象予報士試験合格証明書を、不合格者には気象予報士試験結果通知書を、それぞれ配達日指定扱いの圧着はがきにて郵送します。送付先は受験申請書もしくは送付先変更届に記入した住所となります。なお、当センターのサイトには合格者の受験番号を掲載します。

平成31年

合格発表日： **3**月 **8**日(金)

## 合格発表に関する注意事項

- 合格発表日に合否通知が配達されなかった場合には、当センター試験部まで電話連絡ください（執務日、時間、電話番号は18ページに記載）。ただちに状況を調査の上で再発行します。
- 合格証明書は、気象予報士となることを希望する方が気象庁へ登録申請を行う際に必要ですので、大切に保管してください。
- 結果通知書は、学科の科目に合格した方が次回以降の試験において免除申請を行う際に必要ですので、大切に保管してください。
- 学科試験が両科目とも合格（含、免除）した上で、実技試験の得点が合格基準に達した場合に、合格証明書が送付されます。一方、実技試験の得点が合格基準に達しない場合もしくは未受験（欠席）の場合には、結果通知書が送付されます。
- 受験者の合否を電話・ファクスおよび電子メール等でお答えすることはできません。また、試験問題の内容や採点の詳細に関する個別の照会には応じられません。

# その他の事項

## 個人情報の保護について

当センターでは受験者の個人情報は厳重に管理しています。法で定められた場合を除き受験者の個人情報を気象予報士試験実施に係る事務以外の目的で使用することはありません。

## 不可抗力による試験の中止等

大規模な災害・事故その他の不可抗力により、試験を中止・延期・時間繰り下げ等する場合があります。時間繰り下げの場合、遅刻や退室の扱いを変更することがあります。

## 気象予報士の登録について

試験合格後に気象予報士となることを希望する方は、気象庁への登録申請が必要です。登録の資料は、気象庁から入手（気象庁のサイトからダウンロード等）します。

## 試験問題・解答例の入手方法

試験日の約 10 日後に今回の試験問題（問題用紙・解答用紙）と解答例を当センターのサイトに掲載します。その他、過去の試験問題と解答例も掲載していますのでご利用ください。郵送にて解答例の入手を希望する受験者は、氏名・受験番号・「第 51 回試験の解答例希望」旨を明記した依頼書と、定形サイズの返信用封筒（ご自身の郵便番号・住所・氏名をおもて面に記入し 82 円切手を貼る）を、試験終了後に当センター試験部にお送りください。

# 気象業務に関する業務経歴による免除の詳細

下表に示す業務経歴または資格を有する方については、証明者の公印を受けた証明書を添付した申請を行うことにより、次のとおり学科試験の科目が免除されます。

第1号・第2号・第3号  
に適合 → 「予報業務に関する一般知識」 および  
「予報業務に関する専門知識」 が免除

第4号・第5号 に適合 → 「予報業務に関する一般知識」 が免除

条項	修了・登録条件	気象業務に関する業務経歴	証明書	証明者*
第1号	防衛省・気象庁の養成課程	3年以上、予報業務に従事	業務経歴等（見込）証明書	組織(防衛省)の長官署(気象庁)
	気象事業者上級職員特別講習		業務経歴等（見込）証明書 および 気象事業者上級職員特別講習修了認定証の写し	
第2号	技術士の登録（応用理学部門に限る）	3年以上、予報業務に従事	業務経歴等（見込）証明書 および 技術士登録証の写し	組織(防衛省)の長官署(気象庁) 予報業務許可事業者の代表者
第3号		7年以上、国の行政機関で気象庁長官が定める予報業務に従事	業務経歴等（見込）証明書	組織(防衛省)の長官署(気象庁)
第4号	気象庁の養成課程	3年以上、国の行政機関で観測業務に従事	業務経歴等（見込）証明書	官署(気象庁)の長
	気象事業者上級職員特別講習		業務経歴等（見込）証明書 および 気象事業者上級職員特別講習修了認定証の写し	
第5号		7年以上、国の行政機関で気象庁長官が定める観測業務に従事	業務経歴等（見込）証明書	官署(気象庁)の長

\* 気象事業者上級職員特別講習修了 および 技術士の登録 については、これら証明者による証明は不要

第1号に関する養成課程	第4号に関する養成課程
海上自衛隊第1術科学校幹部専門気象海洋課程 航空自衛隊第4術科学校気象幹部課程 防衛大学校理工学研究科地球工学気象学系列及び高層気象系列	気象大学校研修部技術科観測測器課程
気象大学校研修部技術科Ⅰ 予報課程及び特修科予報課程（平成7年度まで実施した気象大学校研修部技術科予報課程及び専攻科予報課程を含む）	
財団法人気象業務支援センターが平成7年度まで行った気象事業者上級職員特別講習	



## 業務経歴等(見込)証明書記入例

### 業務経歴等(見込)証明書

気象業務に関する業務経歴または資格に該当し今回の試験で学科試験の全部または一部の免除を希望する方は、この証明書を作成し申請書に添付してください。内容を訂正した場合には証明者の訂正印を受けてください。

フリガナ	キショウ シロウ	生年月日
氏名	気象 次郎	昭和 平成 43年2月1日

#### 業務経歴

官署名・部課名/予報業務許可事業者名	職名/業務の概要	期 間
〇〇地方気象台 技術課	予報官	平成19年4月1日から 平成22年3月31日まで
		年 月 日から

従事した期間の合計	3年0か月
-----------	-------

※試験日の前日までの経歴を、端数日は切り上げて1か月単位とし、連続して1年以上の経歴についてのみ積算します。

#### 修了した養成課程

名 称	気象大学校研修部技術科I予報課程
-----	------------------

※証明者の方へ：気象事業者上級職員特別講習修了は証明の対象外です。

#### 技術士の登録(応用理学部門に限る)

登録年月日	年 月 日	登録番号	第 号
-------	-------	------	-----

※証明者の方へ：技術士の登録は証明の対象外です。

上記のとおり相違ありません。

平成30年11月12日  
申請者氏名

気象 次郎

上記のとおり相違ないことを証明する。

平成30年11月12日

証明者官職氏名/予報業務許可事業者名・代表者氏名

〇〇管区気象台長   
(任命権者)

**\* 内容を訂正する場合は、証明者の訂正印(公印)が必要です**

===== 業務に従事した方の経歴照会先 =====

●防衛省で予報業務に従事した方

- 陸 自：陸上幕僚監部指揮通信システム・情報部情報課気象担当……☎ 03-3268-3111 (内線 40475)
- 海 自：海上幕僚監部防衛部運用支援課気象海洋班……☎ 03-3268-3111 (内線 50655)
- 空 自：航空幕僚監部運用支援・情報部運用支援課……☎ 03-3268-3111 (内線 60623)  
部隊訓練2班

●気象庁で予報業務または観測業務に従事した方

気象庁総務部情報利用推進課……☎ 03-3212-8341 (内線 2128)

●民間の予報業務に従事した方(気象庁長官の許可を受けた予報

業務において「主たる予報者」として業務に従事した方)

一般財団法人気象業務支援センター試験部……☎ 03-5281-3664 (直通)

## 目的別の参照先（こんなときどうする？）

目 的	参照ページ等
試験の日程を知りたい	1（表紙）
試験の開始・終了時刻は？	1 1
試験会場は？	1 1
試験中に使える物は？	1 2
過去の試験問題が見たい	1 5
申請書の書き方は？	4～9
試験手数料の金額や納入先は？	5
経歴免除の証明書は？	1 6～1 7
申請内容は変更可能か？	※
紛失（結果通知書，レシート等）	※
試験手数料を納入したが申請しなかった	※
受験票が未着，内容に疑問	1 0
当日欠席したい	連絡不要
学科試験のみ受けて帰りたい	連絡不要
会場に忘れ物をした	※
合否通知が未着	1 4
試験後に解答例を知りたい	1 5
合格後の予報士登録は？	1 5

※ これらの件については当センター試験部までご一報ください。対応をご案内します。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル7階  
 一般財団法人**気象業務支援センター** 試験部  
 URL <http://www.jmbasc.or.jp> / 電話番号 03-5281-3664

問い合わせ対応可能な執務日・時間は，土日祝日年末年始を除く 09:15～17:30